

当面の情報提供案（洪水・緊急時（その1））

情報の区分	現在の提供状況	当面の情報提供案	実現のために必要となるデータ、システム等の整備
a . 河川や堤防等の状況の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準地点での現況水位に加え、3時間先の予測情報 	<p>居住地近くの河川の現況水位、予測水位</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準点だけではなく、一連区間の平均的な水位状況 ・ 身近に分かる地物での表現を付加。 ・ 水位観測所が分かるように表現（例 ××小学校前） ・ 住民にイメージしやすい橋の桁下等からの高さで表現。（例 ××堤防の天端まで m、橋桁下から m） <p>居住地近くの堤防等の弱部の水位状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 堤防の弱部など氾濫に繋がるおそれのある箇所の水位情報 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縦横断図の整理、橋の構造図の整理（現況水位） ・ 水防団等による情報収集や現地画像収集 ・ CCTVによる情報収集（予測水位） ・ 流出計算による洪水時の縦断予測水位の把握 ・ 従来の距離標にかわる住民が分かりやすい名称等を意見を聞いて決定。 ・ 洪水予報については、従来の文形式だけではなく、現状の水位や予測水位と堤防高の関係が理解できるよう河川横断図や縦断図及び地先が分かる平面図を活用し、ビジュアル化を検討。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堤防等の異変（漏水、洗掘等）の状況を、水防団、市町村長には伝達 	<p>堤防等の異変の情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民等に対して、破堤に繋がるおそれのある現象が確認された時点で、速やかに情報を提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堤防弱部にセンサー設置を検討 ・ 水防団等からの情報収集や現地画像を収集。（携帯電話のメール・画像等で収集。）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観測体制が十分ではなく、河川への流出が早い中小河川では水位予測が行われていない。 	<p>居住地近くの中小河川の危険度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 可能な限り水位等の危険性を段階的に分けて情報提供 ・ レーダ雨量計を利用して迅速に水位の可能性予測し、危険情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去の降雨量と水害の記録をもとに、河川毎に危険度を把握。 ・ 予測降雨をもとに個別河川・地域毎の危険度を予測 ・ 中小河川での簡易型洪水予測モデルの作成 ・ レーダ雨量計の観測精度向上 ・ 降雨予測精度の向上

当面の情報提供案（洪水・緊急時（その2））

情報の区分	現在の提供状況	当面の情報提供案	実現のために必要となるデータ、システム等の整備
<p>b. 居住地等の浸水に関する情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大雨洪水注意報・警報の中で、「低地では浸水の恐れ」といった注意喚起程度の情報 	<p>浸水被害の発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘリコプターを活用したリモートセンシング、防災モニター制度による現在の浸水状況把握、浸水センサー設置検討 人工衛星を活用したリモートセンシング等による浸水状況の把握を検討 <p>浸水時刻、浸水範囲、浸水深</p> <ul style="list-style-type: none"> 浸水予測は、予め流量や破堤地点を変化させて計算した結果のうち、当該洪水と比較して最も適当なものをを用いて提供。 3D地図を活用した、リアルタイム氾濫シミュレーション情報 <p>大河川とそれに合流する支川に囲まれた地域では、大河川、支川の各々の情報を合わせた情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防災モニター制度を利用した浸水状況把握システムの構築、浸水センサーの設置検討 氾濫地点別の浸水範囲、浸水深の時系列変化を表示できるものを各河川で準備 流出計算、河道計算、氾濫計算の一体のモデルを必要に応じて整備。 内水氾濫、支川の氾濫、大河川の氾濫計算が同時にできるモデルの整備 河川管理者が異なる場合、予め情報交換をして、両方の情報提供を可能とするシステムを構築。
<p>c. 住民がとるべき行動の情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> 河川管理施設の被災状況や、復旧状況を提供。 その他の施設等は、市町村などの各々管理者等から提供。 	<p>住民から見て一連の情報となるように、関係機関と連携して以下の情報を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 身のまわりのリスク回避の情報 <ul style="list-style-type: none"> 水路に近づかない等 財産を守り被害を少なくするための情報 <ul style="list-style-type: none"> 自動車の移動、貴重品等を高い所に移動する等、 的確かつ確実に避難するための情報 <ul style="list-style-type: none"> 避難場所、避難経路、避難所で必要な物、連絡先等 <p>氾濫域の復旧に関連して交通機関の復旧の状況と河川状況を重ね合わせた情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時における関係機関との情報共有化ネットワークの構築。 鉄道や道路情報と河川情報に関して防災情報提供センター等で情報提供。

当面の情報提供案（洪水・平常時）

情報の区分	現在の提供状況	当面の情報提供案	実現のために必要となるデータ、システム等の整備
<p>a. 緊急時に的確な行動を行うための情報</p>	<p>・ハザードマップ（最大の浸水範囲と浸水深を包絡）</p>	<p>居住地近くの堤防等の弱部の情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要水防箇所の情報 浸水時には、どのような現象が起こるか、被害がどのようになるのかの情報 地域で起こった過去の浸水被害の情報 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水実績図の作成、公表（水害統計の浸水エリア図を活用し電子化して提供） 重要水防箇所等の堤防弱部の情報収集・点検 過去の堤防等の被災記録等の収集
		<p>居住地近くでどのような浸水が起こったかの情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の災害情報、教訓や体験談等に関する情報 <p>リスク回避のための情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 水路に近づかない等の緊急時にやってはいけないこと 被害を小さくする方法等（地下空間等特異の被災形態の場所は、その場所毎の情報） <p>ハザードマップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成に当たっては、急流等の河川特性や地下空間等特異等の地域の河川の特性を十分踏まえたものとする。 <p>避難場所、経路、持参する物、問合せ先等、緊急時の的確な避難のための情報</p> <p>食糧や飲料水等の緊急時の生活に必要な物の情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既往出水時の河川水位や降雨の記録、浸水記録等のデータベース化。 過去の災害情報、教訓や体験談等について収集整理。 <ul style="list-style-type: none"> 3D地図作成の河川管理用のガイドライン作成 3D地図の活用による氾濫計算精度向上の検討
<p>b. 住まい方、土地利用等に関わる平常時からの備えのための情報</p>		<p>居住地でどの程度の浸水が起こる可能性があるのかの情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地利用や住まい方に繋がるように、浸水被害等との因果関係がわかるもの。 <ul style="list-style-type: none"> 緊急時と同じランク分けで浸水深を提供。（その際、メッシュ分割は、自分の家がどうなるかができるだけ分かる大きさに分割） 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水程度と被害の関係を過去の災害事例等から整理 メッシュ分割の程度について検討
<p>c. 施設整備に関する情報</p>	<p>例えば30年に1回発生する洪水に対して、ダム of 整備状況や、堤防の整備等の進捗状況からなる複合的な整備状況の変化を示している。</p>	<p>個別地域で、どの程度の浸水被害が起こる可能性があるかという情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画の洪水が起こったときに、各個別地域（メッシュ）毎では、どのような浸水被害となるのかわかるもの。 <p>施設整備前後における個別地域の浸水による被害の程度に関する情報</p> <p>全国、県別、水系別等での事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業全体で総合化した情報（マップや総合化した数値で提供） 	<ul style="list-style-type: none"> 路面浸水、床下浸水、床上浸水の浸水深分けを行い、表示できる図面の作成。（河川整備計画の対象流量、計画流量等） 各々の人口・資産を算出。